

How to

従業員教育セミナー

【時間】

10:00~17:00

教え方を考える



19,800円

(テキスト代を含む、税込)

こんな困りことは、ありませんか？

何をやればいいの？

- ・ ISO や FSSC などの要求事項により教育規定を作らなくてはならないが、どのように作れば良いのかわからない

どのように教育するの？

- ・ 従業員教育係だが、どのように教育すれば良いか、わからない
- ・ 規定やルールが効果的に現場に落とし込めていない

これでいいの？

- ・ 今の教育方法が、これで良いのか不安だ



こんな事をやるセミナーです

- 誰に、どの段階で、何を教えるべきなのか、教育計画の立て方を検討してみます
 - どのように教えるのが良いのか、考えてみます
 - 誰がどのような知識、スキルを持っているのか、整理し管理します
- これらの事について、討議し、まとめ、実演し、検討してゆくセミナーです



当コースの特徴

特徴 1.

参加型のセミナーです。

4～5名でのグループ討議を主体にコースは進んでゆきます。
各課題をまずはグループで討議して、どうするべきか主体的に考えて頂きます。

特徴 2.

教わる人ではなく、教える人を対象にしたセミナーです。

現場に落とし込んで初めて、知識やルールは役立ちます。「教える人」が既にあるルールなどを、誰に、いつ、どのように教えるべきかを考えることが主題になります。

特徴 3.

正解はありません。最適解を探すセミナーです。

現在「こうすべき」と言われている方法は解説します。しかしそれが全ての人や企業にとっての正解とは限りません。まずはゼロから考えてみます。

カリキュラム（主なもの）

講習名	主な内容	方法
1. 教育計画を立てよう	教育しなければならない事柄は何なのか。 職種や職位を切り口として必要な要素を抽出し、分解し、再構築することで、教育プログラムの全体像を構築してみます。	講義 演習
2. 教え方を考えてみよう	教育方法として、OJTやOff-JTなどがあります。それぞれどのように実施するとより深く理解し、ルール通りに実施してもらえるのか、検討し、実施し、再度検討することで、最適な方法を模索します。	講義 演習
3. 理解度を評価しよう	教育は教えたら終わりではなく、教えられたことをきちんと理解し、自立して仕事ができるようにすることが目的です。そのためには教育結果の評価が不可欠であり、これを行う際のポイントを解説します。	講義 演習
4. 従業員毎の知識やスキルを整理しよう	誰が、どのような知識やスキルを有しているのか、教育結果の評価を基に管理表を作り、確実に力量を確保させるための管理方法を考えます。	講義

※上記のカリキュラム内容及び時間は、変更になる場合がございます。

◆お問い合わせ◆

札幌検査所 TEL：011-612-1530
首都圏事業所 TEL：03-6436-8767
関西事業所 TEL：078-302-1083
事業開発部 TEL：03-6436-8773

仙台検査所 TEL：022-254-8991
名古屋検査所 TEL：052-671-5309
福岡検査所 TEL：092-451-7259
ホームページ <http://www.jffic.or.jp>

